

## 採択理由

プログラム名：若手研究者の自立的な研究環境整備促進  
課題名：わが国の将来を担う国際共同人材育成機構  
代表者名：尾池 和夫  
所属機関名：京都大学

---

## コメント

国際化特区を設置し、採用する若手研究者に占める外国人割合を 50%、女性を 30%とする点は野心的であり、波及効果が期待できる。英語による講義を行うなど、「国際化」を重点においた取組である点が評価された。H18 年度採択の同プログラムの取組は分散ネットワーク型であったが、本提案は生命分野という分野特性と国際性を育むために一箇所集中型としており、同一機関における 2 つのテニユア・トラックが目的指向で明確に整理され、十分な制度設計が行われている。

なお、本提案を医学系だけでなく生命科学系全体に展開することを確保すると共に、さらには本テニユア・トラック制を全学に広げていくよう発展させていきたい。また、若手研究者の採用にあたっては、出身、背景などの多様性が確保されるよう留意していただきたい。

### 【採択条件】

テニユアに至るまでの若手人材育成期間が 10 年で計画されており、課題の実施期間 5 年間をはるかに超えている。このため、実施期間終了後も、明確で実効性のある制度設計を行い、確実に継続することを条件とする。具体的には、本課題終了後の計画をミッションステートメントの「実施期間終了後の取組」に明記すること。